

文化博物館だよりNo.67

みなさん、こんにちは。

日ごとに「春の足音」が聞こえてきそうな陽気になっています。明石公園の上空を飛ぶ鳥たちも次の場所へ行く準備をしているようです。

1. 中東の国、シリアより博物館研修

3月3日(木)、日本から時差 - 7時間の国、シリアから「シリア博物館学導入コース」の一貫として4名の方が研修に来られました。シリアの豊富な遺跡・遺物等の観光資源を有効に展示し、国内外の観光客にとって魅力ある博物館運営をするために、日本国内の博物館や美術館で研修していくという試みです。32日間の長期の研修ですが、明石の文博でも有意義な研修をされました。この時期は、市内外の小学生が「くらしのうつりかわり展」を見学するので、まずその数の多さに驚かれたようです。子どもたちの学習する姿勢、ボランティアの方々の役割など、シリアの博物館にはない試みだったようで新鮮な感想をもたれていました。



天秤棒をモッコを体験



割りばし鉄砲にゴキゲン



拓本実習は難しい！



資料調査・整理の見学

展示物を手に取り、触れることのできるコーナーやボランティアと子どもたちがコミュニケーションできる運営のあり方に興味をもたれていました。また、資料調査や整理の仕方、収蔵庫の様子などもつぶさに見学され、シリアに帰っても今回の研修をいかして、母国の博物館運営に参考にしたいということでした。ただ、イスラム圏の人々なので、日本での食事は大変だそうです。食べてはいけないものや食べられないものもいろいろあり、国が違い、習慣や宗教が違うといろいろありますね。今日は奈良で研修している予定ですが、32日間の研修を無事乗り切ってほしいと思いました。

2. お手玉作り

3月5日(土)は、体験教室の2回目「お手玉作り」を実施しました。保護者連れの子どもたちが自分の「裁縫箱」を持って集まりました。4月から学年が上がり、家庭科が始まるので、新しい裁縫箱を持った子どももいましたよ。「練習に来ましたー。」と意気込んでいましたが、途中からは、お母さんの出番でした。参加された方々は、体験学習室の畳の上や縁側に座って、静かに針を進めていました。私も前回のお手玉作りでは二つのお手玉を作ったのですが、「針の穴」が見えにくくなってきています。糸を通すのに時間がかかること。困ったものです。



黙々と針が動きます。



母と娘、いい時間が流れています。

3月12日(土)13:00～ 石臼を回そう(大豆できな粉作りに挑戦しませんか?)参加費200円(別途入館料必要、のびのびパスポート使えます)

3. 土日の紙芝居、絶好調！！

いつもは学校向けの平日にしか上演されない阿部さんの「紙芝居」が3月5日・6日の土日に上演されました。前日の4日(金)にNHKで阿部さんの紙芝居が紹介されたこともあり、大勢の方が来られました。なんと「黄金バット(ナゾー編)」のほかに「怪獣編」など3つの新作も披露され、子どもも大人も大喜びでした。朝から昼過ぎまで3回連続で見た人もたくさんおり、お手玉も作って帰られました。「一日遊んで学べる博物館」、なかなかのものだと思いませんか？



紙芝居の前にあそびの練習
加！



新作の披露



車椅子の高齢者もクイズに参

紙芝居は3月13日(日)の10:00～15:00にも上演されます。今年度のラストになりますので、みなさんどうぞ！

明石市立文化博物館
編集：永田浩史